

We Have Potential



## 岐阜県議会 選出監査委員就任

山県市選出の県議会議員では29年ぶり4人目の議会選出の監査委員に選任されました。監査委員の職責を賜ることができたのは、これまでお支え頂きました多くの皆様のご支援があったからです。お支え頂きました全ての皆様に心から感謝申し上げます。

監査委員は公正で合理的かつ効率的な行政の確保のため、県が正確で経済的、効率的かつ効果的に事務を行っているか、組織及び運営の合理化に努めているか、事務の執行が法令などの定めるところに従って適正に行われているかなどの観点から、各種の監査を実施します。

地方自治法第2条14項において『地方公共団体はその事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない』とされています。

現在、実施している施策が本当に最小の経費で最大の効果を挙げるプロセスとなっているのかをしっかりと監査していきます。

県では幸せと確かな暮らしのある、ふるさと岐阜県をともに目指して『清流の国ぎふ創生総合戦略』を最上位計画として、令和9年度までの期間で484の施策を進めています。そして、484施策の内、292施策には目標値が定められておりません。

また、戦略の下には県政全体の各課題を解決していくために、多くの施策がありますが、その中にも目標設定のない施策や、各年度の目標に対して実施状況に乖離がありながらも目標値を見直さない施策もあります。

全ての予算が可決されて、全ての事業が実施されているにも関わらず、社会課題を解決する事ができないのは、政策の意思決定過程においてこれまでの経験や勘に頼り立案してきたと共に施策を実施することが目的になっているからです。

計画や施策は市民の皆様が抱える課題を解決して、幸せになって頂く手法であり、施策を実施することは目的ではありません。

政治の目的は、施策を実施した先にある市民の皆様の実現していくことです。

そして、時として結果と同じくらい、その施策の意思決定と実施過程は大切です。課題解決に向けた施策の実現や事業を実施する過程において、これ以上の効果を挙げる施策はデータで示すことのできる証拠に基づく政策立案が大切です。

現代社会では解決できない課題は一つもありません。抱える課題そのものが私たちの社会行動の中から生み出されたものだからです。

課題の要因はデータを基に明確化して、証拠に基づき論理的な政策立案と目的を曲げる事ない施策の実施過程を大切していく事で全ての社会課題は解決できます。

この1年間は、監査委員として各施策の監査を通じて、最小の経費で最大の効果を挙げていく流れを創り、社会課題を解決して人口減少社会の先にある希望が持てる未来を創る挑戦をします。

岐阜県議会議員 恩田佳幸 事務所  
〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬846-1  
TEL0581-32-9597 FAX0581-32-9598

HP 恩田佳幸 検索  
f t LINE i

# Potential

活動  
報告書  
Vol.46

We are in the age of seeking mental happiness, not only with materialistic, quantitative wealth, but also spiritual, qualitative values.



安心も自立も挑戦の先にある  
挑戦せずして  
未来が開けますか。



POTENTIAL

# 恩田佳幸



# topic 》ニホンザルの個体数調整捕獲による被害防止の推進について

## これまでの被害状況と現状について

ニホンザルの被害について相談を受けるケースが増え、農作物への被害に留まらず、小学生の登下校時における危険性も高まったことからニホンザルの被害防止について抜本的な対策を進めるため岐阜県議会にて提案をしました。これまでの経験や勘に頼る対策ではなく、具体的なデータと論理的な対策に基づき地域と共同で対策を進めていきます。山県市内には7群、340頭のニホンザルが生息していると推計されています。令和4年度の農作物被害額は約40万円、生活環境被害や人への危害も確認されつつあります。



本質問は令和5年12月14日に登壇した一般質問です

## ニホンザル対策予算県全体の1/6が山県市に配分

### 第2種特定鳥獣管理計画の提案

令和3年第2回岐阜県議会定例会にてニホンザルに係る『第2種特定鳥獣管理計画』の策定と『個体数調整捕獲』について提案しました。当時、令和4年度中に計画を策定し、令和4年度より個体数調整捕獲の実施が検討されました。

東海3県で計画が無いのは岐阜県だけでした。長年の懸案でありましたニホンザルによる被害防止に向けて本格的にスタートしました。

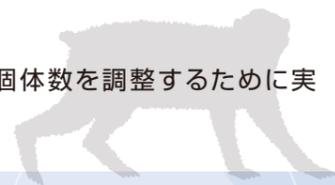
### 第2種特定鳥獣管理計画とは

生息数が著しく増加、又は生息地が拡大している鳥獣の管理を図るため特に必要があると認められる鳥獣について、鳥獣保護管理法に基づいて知事が定める計画です。

計画では、生息数の適正な水準・生息地の範囲等に関する管理目的を定め、『個体数調整捕獲』等の事業が実施できます。

### 個体数調整捕獲とは

『第2種特定鳥獣管理計画』を策定した鳥獣について、計画を踏まえてその鳥獣の個体数を調整するために実施する捕獲です。 ※増えすぎた鳥獣に対して適切な頭数に減らす捕獲方法です。



### 質問

ニホンザルの被害が広がる中で、特に被害の多い地域において、個体数調整捕獲による被害防止を推進すべきと考えますが、ご所見をお尋ね致します。

### 答弁

【環境生活部長】

ニホンザルは基本的に群れで行動する動物であるため、その管理に当たっては、群れの状況に応じた計画的な捕獲を進め、群れの加害性を低下させることが重要であります。

そのため県では、令和5年3月に策定した『第2種特定鳥獣管理計画』に基づき、特に農作物や生活環境へ被害を及ぼす加害レベル4以上の26の群れについて、令和9年度末までに令和4年度末時点の個体数1,420頭を半減させることを目標に、計画的に個体数の適正化を図る『個体数調整捕獲』に取り組みます。

令和5年度は、目標達成に向けた効果的な捕獲を進めるため、これらの群れを対象に行動特性を分析するGPS調査を進めるとともに、それらが最も多く生息する山県市においてモデル的に捕獲に取り組んでおります。

今後はこれらの取り組みで得られた成果をもとに、加害レベル4以上の群れが生息する11市町に『個体数調整捕獲』の実施範囲を拡大します。

本質問は令和5年12月14日に登壇した一般質問です

レベル4とは：群れ全体が通年耕作地の近くに出没し常時被害がある。まれに生活環境被害が発生する。

レベル5とは：群れ全体が通年・頻繁に出没している。生活環境被害が大きく人身被害の恐れがある。人馴れが進んでいるため被害防除対策の効果が少ない。

### 令和3年度の主な取り組み

#### 鳥獣被害防止対策促進支援事業の実施

東海農政局・近畿農政局管内では初となる鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して地域の皆様にご協力を頂き『捕獲サポート事業』を山県市内3地区で実施しました。



捕獲サポート事業説明会

### 令和4年度の主な取り組み

#### 鳥獣被害防止対策促進支援事業の実施

鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して伊自良地内にて大型捕獲檻を用いた捕獲体制モデル事業を実施しました。

地域の皆様にご協力を頂き餌付けを行い令和5年2月に13頭を捕獲し内、12頭を殺処分しました。



捕獲体制モデル事業現地説明会

### 令和5年度の主な取り組み

#### 第2種特定鳥獣管理計画のスタート

全額県予算にて山県市内の個体数調整捕獲を開始しました。

ニホンザルにGPS首輪を装着し、位置データを取得し群れの行動特性(行動パターン)を分析しました。更に詳細な行動範囲の把握をして効率的な個体数調整捕獲を実施します。

### 令和6年度の主な取り組み

#### 鳥獣被害防止対策促進支援事業の実施

鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して伊自良地内・美山地内にて大型檻を用いて餌付けし個体数調整捕獲を実施します。

令和9年度末までに市内レベル4以上の5群を、個体数調整捕獲にて半減させます。

個体数調整捕獲を11市町に拡充します。

第2種特定鳥獣管理計画(ニホンザル)第1期に基づく目標捕獲数について策定

岐阜県ニホンザル被害対策マニュアル策定

鳥獣被害対策等の推進費(ニホンザル・イノシシ・ニホンジカ等)8億円



## 令和9年度末までにニホンザル半減

岐阜県の各施策の中で、ここまで詳細な計画を策定してきたのは『ニホンザル対策』だけです。県内各地ではそれぞれの計画を基に、確実な結果を出しニホンザルの被害を減少させています。

### 『行政の責任』と『地域の役割』

行政の責任で各計画の策定と予算の確保、事業実施の体制を整備します。

地域の役割として、大型檻の餌付け等に参画して頂きます。

市民の皆様が主体的に参画して頂ける地域から対策は進められます。

既に、多くの地域では計画を実施して結果が出ています。後は、山県市でも行動するのみです。